
学 則

東京服飾専門学校

東京服飾専門学校 学則

第 1 章 総 則

(目的)

第 1 条 本校は服飾の学理と技術によって、職業若しくは实际生活に必要な能力を育成することを目的とする。

(名称)

第 2 条 本校は、東京服飾専門学校という。

(位置)

第 3 条 本校は、位置を東京都豊島区巣鴨 1 丁目 1 9 番地 7 号に置く。

第 2 章 課程及び学科、修業年限、定員並びに休業日

(課程、学科、修業年限、定員)

第 4 条 本校の課程、学科及び修業年限並びに定員は次のとおりとする。

服飾専門課程	学科名	修業年限 (年)	定 員 (名)	総定員 (名)
	アパレル造形科デザイナーコース	2	2 0	4 0
	アパレル造形科パタンナーコース	2	2 0	4 0
	スタイリスト科	2	5 0	1 0 0
	モデル科	1	1 0	1 0
	ファッションビジネス科	2	5 0	1 0 0
	アパレル技能科テクニカルコース	2	5 0	1 0 0
	専攻科デザイナーコース	1	1 0	1 0
	専攻科パタンナーコース	1	1 0	1 0
	専攻科テクニカルコース	1	1 0	1 0
	合 計			4 2 0

(学年、学期の終始期)

第 5 条 本校の学年及び学期は次のとおりとする。

学 年	4 月 1 日から翌年 3 月 3 1 日まで
前期	4 月 1 日から 7 月 3 1 日まで
後期一	9 月 1 日から 1 1 月 3 0 日まで
後期二	1 2 月 1 日から 3 月 3 1 日まで

(休業日)

第 6 条 本校の休業日は、次のとおりとする。

1. 土曜日、日曜日
2. 国民の祝日に関する法律で規定する休日
3. 夏季休業 7月18日から8月31日まで
4. 冬季休業 12月26日から1月11日まで
5. 春季休業 3月14日から4月4日まで
6. 開校記念日 5月2日

第 3 章 教育課程、授業時数及び教職員組織

(教育課程、時間時数)

第 7 条 本校の教育課程及び時間時数は、別表1のとおりとする。

(授業の終始期)

第 8 条 本校の始業及び終業の時刻は次のとおりとする。

服飾専門課程は、午前10時から午後4時迄

(教職員組織)

第 9 条 本校に次の教職員を置く。

1. 理 事 長 兼 校 長 1名
2. 副 校 長 1名
3. 教 員 15名以上
4. 講 師 若干名
5. 事務職員 若干名

理事長は校務をつかさどり所属教員を監督する。

第 4 章 入学、休学、退学、卒業及び賞罰

(入学資格)

第 10 条 本校の入学資格は次のとおりとする。

1. アパレル造形科デザイナーコース・アパレル造形科パタンナーコース・
スタイリスト科・モデル科・ファッションビジネス科
・アパレル技能科テクニカルコース

高等学校卒業以上の者又はこれと同程度以上の学力があると認められる者

2. 専攻科デザイナーコース

本校アパレル造形科デザイナーコース修了者又はこれと同程度以上の学力があると認められる者

3. 専攻科パタンナーコース

本校アパレル造形科パタンナーコース修了者又はこれと同程度以上の学力があると認められる者

4. 専攻科テクニカルコース

本校アパレル技能科テクニカルコース修了者又はこれと同程度以上の学力があると認められる者

(入学時期)

第 11 条 本校の入学時期は毎年4月とする。

(入学手続許可)

第 12 条 本校の入学手続は次のとおりとする。

1. 本校に入学しようとする者は、本校の定める入学願書に必要事項を記載して、指定期日までに提出しなければならない。
2. 前号の手続を終了した者に対し入学試験を行い、入学者を決定する。
3. 本校に入学を許可された者は、入学許可の日から3週間以内に第21条の入学金を添え手続をとらなければならない。

(休復学)

第 13 条 学生が疾病その他やむを得ない理由によって30日以上休学する場合は、診断書およびその事由を記し、理事長の許可を受けなければならない。休学を許可された者が復学しようとする場合は届けて復学することができる。

(自主退学)

第 14 条 退学しようとする者は、その理由を記し、理事長の許可を受けなければならない。

(転科)

第 15 条 アパレル造形科デザイナーコース、アパレル造形科パタンナーコース、スタイリスト科、モデル科、ファッションビジネス科およびアパレル技能科テクニカルコースの1年次を修了した者は、2年次に進級する際自己が在籍する学科以外の学科へ転科することができる。ただし、転科を希望する者について試験を行い、進級する学科の1年次修了者と同程度以上の学力があると認められる者に限るものとする。

(卒業・修了の認定)

第 16 条 校長は、教育課程の定めるところにより、学年ごとに修了すべき学科目について試験を行ない、合格者に対して当該学科目の修了を認定する。ただし、実習につい

ては、実習の成績によって修了を認定することができる。

(卒業)

第 17 条 本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与する。

(称号の授与)

第 18 条 前条に規定するところにより、アパレル造形科デザイナーコース、アパレル造形科パタンナーコース、スタイリスト科、ファッションビジネス科、およびアパレル技能科テクニカルコースを修了した者は、専門士（服飾専門課程）と称することができる。

(褒章)

第 19 条 成績優秀にして、他の模範となる者は、褒章することがある。

(退学)

第 20 条 次の各号の 1 に該当する者には、退学を命ずることがある。

1. 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
2. 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
3. 正当な理由がなくて出席が常でない者
4. 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第 5 章 入学金、授業料、その他

(納付金)

第 21 条 本校の入学金、授業料等は、次のとおりとする。

服飾専門課程	科別	費用	学 年	入学金	授業料 (年額)	維持費 (年額)	学生諸費 (年額)	材料費 (年額)	総額
	アパレル造形科デザイナーコース		1	150,000	580,000	110,000	50,000	160,000	1,050,000
			2	—	580,000	110,000	50,000	130,000	870,000
	アパレル造形科パタンナーコース		1	150,000	580,000	110,000	50,000	160,000	1,050,000
			2	—	580,000	110,000	50,000	130,000	870,000
	スタイリスト科		1	150,000	580,000	110,000	50,000	160,000	1,050,000
			2	—	580,000	110,000	50,000	130,000	870,000
	モデル科		1	150,000	580,000	110,000	50,000	160,000	1,050,000

ファッションビジネス科	1	150,000	580,000	110,000	50,000	160,000	1,050,000
	2	—	580,000	110,000	50,000	130,000	870,000
アパレル技能科テクニカルコース	1	150,000	580,000	110,000	50,000	160,000	1,050,000
	2	—	580,000	110,000	50,000	130,000	870,000
専攻科デザイナーコース	3	—	290,000	110,000	50,000	130,000	580,000
専攻科パタンナーコース	3	—	290,000	110,000	50,000	130,000	580,000
専攻科テクニカルコース	3	—	290,000	110,000	50,000	130,000	580,000

(学費の納入)

第 22 条 一度納入した学費は、入学辞退者を除き、原則として返金しない。学費の納入は、全額を年 2 回に分納することができる。

(健康診断)

第 23 条 健康診断は、毎年 1 回、別に定めるところにより実施する。

(細則の制定)

第 24 条 この学則の実施に必要な細則は、理事長が定める。

付 則

1. この学則は平成 6 年 4 月 1 日より施行する。
2. この学則実施に必要な細則は校長が定める。

付 則

1. この学則は平成 7 年 4 月 1 日より施行する。
2. この学則実施に必要な細則は校長が定める。

付 則

1. この学則は平成 12 年 4 月 1 日より施行する。
2. この学則実施に必要な細則は校長が定める。
3. ただし、第 17 条については、平成 12 年 2 月 8 日より施行する。

付 則

1. この学則は平成 14 年 4 月 1 日より施行する。
2. この学則実施に必要な細則は校長が定める。

付 則

1. この学則は平成 17 年 4 月 1 日より施行する。
2. この学則実施に必要な細則は校長が定める。

付 則

1. この学則は平成 21 年 4 月 1 日より施行する。
平成 20 年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
2. この学則実施に必要な細則は校長が定める。

付 則

1. この学則は平成 21 年 4 月 1 日より施行する。

付 則

1. この学則は平成 22 年 4 月 1 日より施行する。

付 則

1. この学則は平成 29 年 4 月 1 日より施行する。

付 則

1. この学則は平成 30 年 4 月 1 日より施行する。

付 則

1. この学則は平成 31 年 4 月 1 日より施行する。
2. ただし、第 9 条 1 については令和元年 5 月 1 日より施行する。

付 則

1. この学則は令和 2 年 4 月 1 日より施行する。

別表 1

【服飾専門課程アパレル技能科テクニカルコース】															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		実務経験のある教員による授業
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			スタイル画／デザイン演習	デッサン、クロッキーからスタイル画表現力。コンセプトからデザイン構成力と表現基礎。	1・通年	97.5				○	○		○		○
○			カラー	色彩学、AFT色彩検定受験対策	1・前期	37.5		○			○			○	○
○			ファッション素材学	アパレル製品の素材としての繊維、糸、生地を理解し、製作、販売、衣生活に役立てる。素材組成から各種素材、織、柄名称、素材加工、取り扱いケア	1・後期	52.5		○			○		○		○
○			服飾技術実習	平面で製図したものが、用布を裁断・縫い合わせ・立体化して着用する服となっていく工程の理解と縫製仕様の習得	1・通年	542.5				○	○		○		○
○			ドレーピング&製図	平面製図でおこなっているものを、立体ボディーを使用し、実際の布（シーチング）をあてダーツをとる事によって、実際のフォルムに合わせていきパターンの仕組みを理解する。	1・通年	97.5				○	○		○		○
○			服飾史	古代から現代までの洋服の歴史を知る。素材から形まで	1・前期	35		○			○		○		○
○			就職ガイダンス	就職に関する基本姿勢を醸成、対応策についてガイダンス	1・後期	57.5		○			○		○		○
○			テクニカル工芸	スモッキング／つまみ細工 装飾テクニック習得	2・通年	87.5				○	○			○	○
○			卒業制作実習	卒業制作・作品製作実習	2・通年	157.5				○	○		○	○	○
○			舞台衣装製作実習	衣装製作、デザイン、パターン、縫製の強化、衣装撮影会まで	2・通年	140				○	○		○		○
○			服飾造形実習	アイテム製図、縫製技術実習	2・通年	375				○	○		○		○
○			就職キャリアデザイン	自己理解、仕事理解を通して自分のキャリア形成を考える	2・前期	35		○			○		○		○
○			卒業制作ファッションショー制作実習	卒業修了ショーに向けた作品テーマ、カテゴリー企画。グループワーク。	2・前期	37.5				○	○		○		○
○			産学連携実習	連携先の企業が設定したテーマに沿って舞台衣装の企画・提案をしていく	2・通年	87.5				○	○	○	○	○	○
						1840									
合計					14科目	1,840単位時間(単位)									
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
各科目の出席単位時間が75%以上であること、および各科目の総合評価が6以上であること。								1学年の学期区分				3期			
								1学期の授業期間				平均13週			

【服飾専門課程アパレル造形科デザイナーコース】															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		場所		教員		企業等との連携	実務経験のある教員による授業
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任		
○			スタイル画/デザイン演習	デッサン、クロッキーからスタイル画表現力。コンセプトからデザイン構成力と表現基礎。	1・通年	87.5			○		○		○		○
○			Mac演習Ⅰ	Macを使用したグラフィックソフトの技術取得 イラストレーター・フォトショップの初～中級操作と実践、パワーポイントを使ったプレゼンテーションツール作成 各ソフトウェアの連動操作取得	1・通年	87.5			○		○		○		○
○			ドレーピング&製図	平面製図でおこなっていたものを、立体ボディーを使用し、実際の布（シーチング）をあてダーツをとる事によって、実際のフォルムに合わせていきパターンの仕組みを理解する。	1・通年	87.5				○	○		○		○
○			カラー	色彩学、AFT色彩検定受験対策	1・前期	35			○			○		○	○
○			ファッション素材学	アパレル製品の素材としての繊維、糸、生地を理解し、製作、販売、衣生活に役立てる。 素材組成から各種素材、織、柄名称、素材加工、取り扱いケア	1・後期	60			○			○			○
○			服飾技術実習	平面で製図したものが、用布を裁断・縫い合わせ・立体化して着用する服となっていく工程の理解と縫製仕様の習得	1・通年	472.5				○	○		○		○
○			服飾史	古代から現代までの洋服の歴史を知る。 素材から形まで	1・前期	37.5			○			○			○
○			就職ガイダンス	就職に関する基本姿勢を醸成、 対応策についてガイダンス	1・後期	52.5				○			○		○
○			トレンド分析/産学連携実習	コレクショントレンドやマーケットの流れをとらえ、ブランドのコンセプトやマーケットでのポジショニングを理解し商品企画を行う。 それをリアルに体験するために実践的に産学授業を組み込んでいる。	2・通年	87.5				○	○	○	△	○	○
○			デザイン演習	ファッションデザインコンペ作品製作、テーマデザイン &コンセプトメイキング、ファッションデザイナーとしてのデザイントレーニング	2・通年	87.5				○		○		○	○
○			工業パターン製図実習	平面製図、立体裁断の技術実習。製品製図とグレーディング。パターン検定試験3級取得対応	2・後期	52.5					○	○		○	○
○			服飾造形実習	デザイン力強化を目的とした、作品製作、 パターン演習	2・通年	375					○	○		○	○
○			就職キャリアデザイン	自己理解、仕事理解を通して自分のキャリア形成を考える	2・前期	35				○		○		○	○
○			卒業制作ファッションショー制作実習	卒業修了ショーに向けた作品テーマ、カテゴリー企画。グループワーク。	2・前期	37.5					○	○		○	○
○			卒業制作実習	個別作品制作、卒業制作試作	2・通年	157.5					○	○		○	○
○			Mac演習Ⅱ	Macを使用したグラフィックソフトの技術取得 イラストレーター・フォトショップの中～上級操作と実践、パワーポイントを使ったプレゼンテーションツール作成 各ソフトウェアの連動操作取得	2・通年	87.5				○		○		○	○
						1840									
合計				16科目		1,840単位時間(単位)									
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
各科目の出席単位時間が75%以上であること、および各科目の総合評価が6以上であること。								1学年の学期区分							3期
								1学期の授業期間							平均13週

【服飾専門課程アパレル造形科パターンナーコース】															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		実務経験のある教員による授業の連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			スタイル画/デザイン演習	デッサン、クロッキーからスタイル画表現力。コンセプトからデザイン構成力と表現基礎。	1・通年	87.5			○		○		○		○
○			Mac演習	Macを使用したグラフィックソフトの技術取得 イラストレーター・フォトショップの初～中級操作と実践、パワーポイントを使ったプレゼンテーションツール作成 各ソフトウェアの連動操作取得	1・通年	87.5			○		○		○		○
○			カラー	色彩学、AFT色彩検定受験対策	1・前期	35		○			○			○	○
○			ファッション素材学	アパレル製品の素材としての繊維、糸、生地を理解し、製作、販売、衣生活に役立てる。 素材組成から各種素材、織、柄名称、素材加工、取り扱いケア	1・後期	60		○			○		○		○
○			服飾技術実習	平面で製図したものが、用布を裁断・縫い合わせ・立体化して着用する服となっていく工程の理解と縫製仕様の習得	1・通年	472.5				○	○		○		△
○			服飾史	古代から現代までの洋服の歴史を知る。 素材から形まで	1・前期	37.5		○			○		○		○
○			就職ガイダンス	就職に関する基本姿勢を醸成、対応策についてガイダンス	1・後期	52.5			○		○		○		○
○			ドレーピング&製図	平面製図でおこなっていたものを、立体ボディーを使用し、実際の布（シーチング）をあてダーツをとる事によって、実際のフォルムに合わせていきパターンの仕組みを理解する。	1・通年	87.5				○	○		○		○
○			トレンド分析/産学連携実習	コレクショントレンドやマーケットの流れをとらえ、ブランドのコンセプトやマーケットでのポジショニングを理解し商品企画を行う。 それをリアルに体験するために実践的に産学授業を組み込んでいる。	2・通年	87.5			○	○	○	△	○		○
○			アパレルCAD実習	CADキーボードのショートカットキーを覚えながら、軽衣料の製図をし、完成パターンを作成していく。CADの基本操作を習得する。	2・通年	175				○	○		○		○
○			工業パターン製図実習	平面製図、立体裁断の技術実習。製品製図とグレーディング。パターン検定試験3級取得対応	2・後期	52.5				○	○		○		○
○			服飾造形実習	デザイン力強化を目的とした、作品製作、パターン演習	2・通年	375				○	○		○		○
○			就職キャリアデザイン	自己理解、仕事理解を通して自分のキャリア形成を考える	2・前期	35			○		○		○		○
○			卒業制作ファッションショー制作実習	卒業終了ショーに向けた作品テーマ、カテゴリー企画。グループワーク。	2・前期	37.5				○	○		○		○
○			卒業制作実習	個別作品制作、卒業制作試作	2・通年	157.5				○	○		○		○
						1840									
合計			15科目			1,840単位時間(単位)									
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
各科目の出席単位時間が75%以上であること、および各科目の総合評価が6以上であること。								1学年の学期区分				3期			
								1学期の授業期間				平均13週			

【服飾専門課程スタイリスト科】														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法		場所		教員		実 務 経 験 の あ る 教 員 による授業
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ヘアスタイリング	ヘアスタイリングの基礎・基本を学ぶ。	1・前期	25			○	○			○	○
○			メイクアップ	フルメイクの為の基礎テクニックの習得。ステージメイクにも応用出来るテクニックの習得。将来の職種にリンクする、就職活動や社会人として通用する自身の身嗜みとして役立てる。	1・後期Ⅰ	27.5			○	○			○	○
○			英会話	日常英会話	1・後期Ⅱ	35		○		○			○	○
○			Mac演習	Mac/パソコンを使用したグラフィックソフトの技術取得 イラストレーター・フォトショップの初～中級操作と実践、 パワーポイントを使ったプレゼンテーションツール作成	1・通年	87.5		○		○		○		○
○			スタイリスト実習	スタイリストアシスタントとしての基礎知識と基本技術	1・通年	87.5			○	○			○	○
○			スタイリング実習	スタイリングをする上でのベースとなる基礎知識を様々な角度から獲得。実践によってコンセプトに基づいたスタイリングをする能力を高める。	1・通年	92.5			○	○			○	○
○			マスメディア論	ファッション業界におけるメディアの成り立ちとその役割を知る。雑誌を題材に記事作成の実作業を行うことで、その流れを理解する。	1・前期	32.5		○		○		○		○
○			デザイン&アートワーク	クロッキー、スタイル画製作、テーマやコンセプトメイキング。	1・後期	57.5		○		○		○		○
○			カメラワーク	現場での様々なシュチュエーションに対応出来る基礎知識の習得	1・後期	67.5			○	○	○	○		○
○			ファッション素材学	アパレル製品の素材としての繊維、糸、生地を理解し、製作、販売、衣生活に役立てる。	1・後期	57.5		○		○		○		○
○			服飾史	古代から現代までの洋服の歴史を知る。素材から形、構造まで。	1・前期	37.5		○		○		○		○
○			カラー	色彩検定対策	1・前期	37.5		○		○			○	○
○			PCワーク	Windowsマシンの使用方法とビジネスソフト（Word、Excel等）の使ったビジネス文書の作成。 簡易な関数を使った、請求書や在庫管理表、年間売上表の作成	1・前期	30			○		○		○	○
○			就職ガイダンス	企業研究、面接対応練習	1・後期	60		○		○		○	○	○
○			服飾造形演習	現場で必要な手縫い・縫製の知識を学び、技術を習得する。作品製作	1・通年	185			○	△	○		○	○
○			縫製実習	終了作品製作	2・通年	87.5				○		○		○
○			ポートフォリオ	小物製作やファッション雑貨研究	2・後期Ⅱ	30				○	○		○	○
○			ライフスタイル研究	インテリアを含む生活様式を研究する	2・通年	95		○			○			○
	○		スタイリスト実習2	洋服に対しての知識、スタイリストアシスタントとしての即実践に繋がるスキル	2・通年	175			○		○		○	○
○			商品知識・商品ディレクション	企業や各ブランドが実践している事例を参考に販売促進の企画、実践方法を学ぶ	2・通年	95		○			○			○
	○		ショップ起業実習	0からの企画／生産／実店舗運営演習&実習	2・通年	87.5				○		○	○	○
○			講演・学外見学	業界著名人、OBOGなどファッション、ファッションビジネスに関する講演会。現場、アトリエ見学、研修。	2・前期	37.5		○			○	○		○
○			衣装制作実習	日常の衣服ではない、衣装を考えて製作をする。 スタイリング、リメイクも含む。	2・通年	87.5				○	○		○	○
○			スタイリング実習2	ファッション業界人として必要な代表的スタイルに関する知識を深める。それを現代的なスタイリングに落とし込む実践を通して、創意工夫の能力を育てる。	2・通年	92.5				○	○		○	○
○			研修／キャリアデザイン	就職に向けたスタイリスト、企業研究	2・前後Ⅰ	62.5		○			○		○	○
○			卒業制作ファッションショー制作実習	卒業修了ファッションショー企画運営進行準備 &実習	2・通年	157.5				○	○		○	○
	○		アパレル概論	アパレルビジネス知識の習得	2・通年	87.5		○			○			○
合計					27科目		1,840単位時間(単位)							
卒業要件及び履修方法					授業期間等									

【服飾専門課程 ファッションビジネス科】																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験のある教員による授業
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			カラー	色彩学、AFT色彩検定受験対策	1・前期	25		○			○		○		○	
○			ヘアスタイリング	ヘアメイクアレンジ技術習得 ヘアスタイリングの基礎・基本を学ぶ。	1・後期Ⅰ	25				○	○		○		○	
○			メイクアップ	フルメイクの為の基礎テクニックの習得。 ショー等のステージメイク応用テクニック 将来の職種精通した知識、技術を養う。 就職活動、自身の身嗜みとして役立てる。	1・後期Ⅱ	27.5				○	○		○		○	
○			PCワーク	Windows Wordビジネス文書の作成。 Excel簡易な関数、請求書や在庫管理表、年間売上表 ビジネスメールの送受信方法などのPC操作の解説。	1・前期	35			○		○		○		○	
○			英会話	グローバルコミュニケーション ネイティブ講師による、日常ビジネス英会話	1・前期	35			○		○		○		○	
○			カメラワーク	写真撮影についての基礎知識の習得。 PR方法として有効な写真撮影についての基礎知識と 人物、物撮り基本撮影技法の習得 自己表現力の強化	1・後期Ⅱ	27.5				○	○	△	○		○	
○			服飾史	古代ギリシャから、中世ヨーロッパ 20世紀ファッションまで	1・前期	32.5		○			○		○		○	
○			ファッション素材学	アパレル製品の素材としての繊維、糸、生地を 理解し、製作、販売、衣生活に役立てる。 素材組成から各種素材、織、柄名称、素材加工、 取り扱いケア	1・後期	60		○			○	△	○		○	
○			縫製造形演習	ミシン、縫製用具の使い方 縫製基礎技術の習得 （ファッションアイテム、小物製作、部分縫い）	1・通年	95			○		○		○		○	
○			商品知識・ 商品ディレクション	アパレルにおける商品の知識取得とビジネス検定対策 （商品アイテム名称、部分名称、使用名称）	1・通年	87.5		○			○		○		○	
○			Mac演習	Macを使用したグラフィックソフトの技術取得 イラストレーター・フォトショップの初～中級操作と 実践、パワーポイントを使ったプレゼンテーションツール 作成	1・通年	95			○		○		○		○	
○			パーソナルコーディネート/ ディスプレイ実習	スタイリングの組み方、アイテム用語、感情表現、 ストーリー構築 色や生地の組み合わせ方など一連の 流れを学ぶ	1・通年	87.5		○		○	○		○		○	
○			マーケティング演習	マーケティングの基礎の理解力、応用力を習得する。 また社会で働く際に必須となるプレゼンテーション能力 も高めるマーケティング4P、4C理論	1・通年	97.5		○	○		○		○		○	
○			ビジネス検定	ファッションビジネス検定3級テキストを使用し、 ファッションビジネス知識面の知識を修得する （ビジ検3級取得）	1・前期	37.5		○			○		○		○	
○			就職ガイダンス	企業研究、職種研究、就職活動対策支援 校内企業セミナー	1・後期	60					○		○	△	○	
○			ショップ起業実習	ショッププロデュースに関してコンセプトワークから ターゲット設定、そして商品企画制作仕入れを経験し、 実店舗運営までの一連の流れを学生達に経験させる	1・通年	92.5					○	△	○	○		○
○			職業実践／産学連携実習	プロモーション計画（WEBその他）を立案し、企画書に 取りまとめて企業様へ提出。 企業担当者様に選考して頂き、選抜作品をプレゼン テーションさせて頂き、ご評価頂く。	2・通年	87.5			○	○	△	○		○		○
○			販売オン・ザ・ジョブ・ トレーニング	接客応対マナー、販売・経営管理、VMD技術の習得 ロールプレイング実習	2・通年	87.5		○			○			○		○
○			Webマーケティング／ EC演習	アパレル業界の販売方法の軸となりつつあるECの概要を 理解する。Web販売原理、SNS活用演習	2・通年	87.5			○		○		○		○	
○			起業・ブランド設計演習	ブランドプロデュースにあたって必要なコンセプト ワーク、ブランディング等を演習し、自己ブランドを プロデュースする起業開業シュミレーション、 ショップ計画	2・通年	92.5			○		○		○		○	
○			ビジネス実務演習	ビジネスの世界で生きていく上での基本的スキル・能力の 育成を学ぶ 社会・組織の中で自分のキャリアを築いていく上に 必要不可欠な能力を習得	2・通年	87.5			○		○		○		○	
○			プレス実習	ファッション業界に置けるプレス・PRの職種知識取得と 資料作成及び実践 他の職種にも適用するためのトレンドキャッチ・ コミュニケーション能力と効果的なプレゼンテーション ツール作成。店頭を始めとするVP知識と技術取得	2・後期Ⅱ	30				○	○		○		○	
○			バイヤー演習	バイヤーの位置付けや仕組みを理解し、実績方法を学ぶ	2・後期Ⅱ	57.5			○				○		○	
○			就職キャリアデザイン	自己理解、仕事理解を通して自分のキャリア形成を考える	2・前期	37.5			○		○		○		○	
○			講演・学外見学	業界著名人、OBOGなどファッション、ファッション ビジネスに関する講演会。現場、アトリエ見学、研修。	2・前期	37.5		○		○	○		○		○	
○			VP演習	アパレルにおけるVPの必要性・具体的手法の取得 業界用語と職種の知識取得を目指す。	2・前後期Ⅰ	62.5				○	○		○		○	
○			MD・商品企画	マーチャндаイジングの概念を捉え、MDの視点から商品につ いて学ぶ。	2・通年	95		○			○		○		○	
○			卒業制作ファッションショー 制作実習	2年間学んだ事を活かし卒業制作ファッション・ショーの 演出企画、運営を遂行しつつ各タリダーシップ、チーム ワーク、コミュニケーション、企画立案、リスク マネジメント、予算管理能力などを修得する。	2・通年	157.5					○	○		○		○
合計				28科目		1840		1,840単位時間（単位）								
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
各科目の出席単位時間が75%以上であること、および各科目の総合評価が6以上であること。								1学年の学期区分				3期				
								1学期の授業期間				平均13週				

【モデル科】																	
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		実 務 経 験 の あ る 教 員 に よ る 授 業		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任			
○			プロポーション美学	モデルに仕事を理解し自ら必要な日々の取り組みを知 る。モデルとして様々なイメージを理解し表現すること ができる。撮影を通じポートフォリオを作成する。	1・ 前 後 期 Ⅰ	60		○			○			○	○		
○			PCワーク	Windows マシンの使用方法とビジネスソフト（Word、 Excel等）の使ったビジネス文書の作成。 簡易な関数を使った、請求書や在庫管理表、 年間売上表の作成	1・ 前 期	37.5			○		○		○		○		
○			卒業制作ファッション ショー制作実習	卒業制作ファッションショー企画運営進行準備補助 &実習	1・ 後 期	60				○	○		○		○		
○			英会話	日常英会話	1・ 前 期	35		○			○			○	○		
○			演技実習	はっきりと聞き取れる発音（発声・滑舌）と、 感情豊かに演技できる基礎力をつくる 自己を客観視し、セルフプロデュースできる力を 身に付ける	1・ 通 年	95				○	○			○	○		
○			ウォーキング& ポージング	正しい姿勢と美しい歩き方、ポージングを 身に付けて、一生の財産となる「美」に関する ノウハウを習得する。	1・ 通 年	145				○	○			○	○		
○			メイクアップ	フルメイクの為の基礎テクニックの習得。 ステージメイクにも応用出来るテクニックの習得。 将来の職種にリンクする、就職活動や社会人として通用 する自身の身嗜みとして役立てる。	1・ 後 期 Ⅱ	27.5				○	○			○	○		
○			フォトセッション	正しい姿勢と美しい歩き方、ポージングを 身に付けて、一生の財産となる「美」に関する ノウハウを習得する。	1・ 通 年	87.5			○		○	○	○	○	○		
○			ダンスレッスン	ダンスの基礎から応用まで、幅広く習う事 によって、身体で表現する事の喜びや、基礎身体 能力をのばす。	1・ 通 年	95				○	○			○	○		
○			フォトテクニック	画像修正などのグラフィックツールの活用	1・ 前 後 期 Ⅰ	62.5			○		○		○		○		
○			栄養学	栄養学の基礎を理解し、習得した知識を日常の 食生活で実践できるようにする。また、モデル としての体型形成および維持と健康管理に習得 した知識を活用できるようにする。	1・ 通 年	97.5		○		○	○	○		○	○		
○			マスメディア論	ファッション業界におけるメディアの成り立ちと その役割を知る。雑誌を題材に記事作成の 実作業を行うことで、その流れを理解する。	1・ 前 期	35		○			○		○		○		
○			オーディション対策	オーディションへのエントリー、 ならびに準備と対策	1・ 後 期	52.5			○		○	○	○		○		
○			マナー	社会一般教養としてのマナーを学ぶ	1・ 後 期 Ⅱ	60		○			○		○		○		
						950											
合計				14科目	950単位時間(単位)												
卒業要件及び履修方法								授業期間等									
各科目の出席単位時間が75%以上であること、および各科目の総合評価が6以上であること。								1学年の学期区分									3期
								1学期の授業期間								平均13週	

【専攻科デザイナーコース、パタンナーコース、テクニカルコース】																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験のある教員による授業
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			産学連携実習	将来へ向けた職業関連企業からの講師や実務体験を通して知見と技術の向上をはかる。	通年	87.5				○	○	△	○		○	○
○			パターン・製図・CAD実習	CADキーボードのショートカットキーを覚えながら、軽衣料の製図をし、完成パターンを作成していく。CADの応用操作を習得する。	通年	87.5				○	○		○			○
○			テキスタイル実習	生地デザインからオリジナルの作品製作を行う。	通年	92.5				○	○		○			
○			高度造形実習	デザイン力強化を目的とした、作品製作、パターン演習	通年	95				○	○		○			○
○			卒業制作ファッションショー制作実習	卒業修了ショーに向けた作品テーマ、カテゴリー企画。グループワーク。	通年	37.5				○	○		○			○
○			卒業制作実習	卒業修了ショーに向けた作品制作	通年	60				○	○		○			
○			制作実習	研究活動制作	通年	460				○	○		○			○
						920										
合計				7科目		920単位時間(単位)										
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
各科目の出席単位時間が75%以上であること、および各科目の総合評価が6以上であること。								1学年の学期区分				3期				
								1学期の授業期間				平均13週				